

短答再スタート
2023年合格直結
超★効率的合格法セミナー

2022年6月4日(土) 18時30分～

管理会計論

TAC公認会計士講座講師
岡本匡央

1. 講師の経歴

岡本匡央（おかもとまさお）

1998年（18歳）	大学入学
2002年（22歳）	短答不合格
2003年（23歳）	短答合格・論文不合格
2004年（24歳）	短答合格・論文合格
2008年（28歳）	修了考查合格（公認会計士登録）
2012年（32歳）	トーマツ退職
現 在（42歳）	監査法人代表社員、会計事務所所長、 TAC講師（管理会計論） ほか

2. 受験生時代の失敗

- TAC入学後も、サークル活動に明け暮れる



- 好きな科目、好きな論点だけ勉強



- 大量のレジュメ収集、きれいなテキスト加工で満足
(会計士を目指している自分に酔う)



- 2年経過後の2002年5月短答でボロ負け



- 前TBと後TBの違いすら知らないことに愕然

3. そもそも、短答式試験とは？（私見）

- 論文式試験受験者の選抜

基礎力がない受験生の論文答案まで採点する余裕はない。

- 会計士としての要領を確認

膨大、難解な公認会計士の仕事をこなす要領はあるか？

4. なぜ、短答式試験に不合格になるのか

- 「基礎力がない」から！
- 「センスがない」は違う！

（基礎力がない理由）

- 入門期、基礎期をおろそかにした
- 勉強した気になっている
- 合格直結の学習をしていない
 - ⇒レジュメの収集・教材の加工に奔走、
知的好奇心の充足で無意識に満足

5. 再スタートにあたっての4箇条

- ①素直に取り組む
- ②腹をくくる
- ③受験界のムードに流されない
- ④ムダを徹底排除する

6. ①素直に取り組む

- 講師は、受講生の合格を願っています。
- 入門期、基礎期、上級期、直前期を通じ、その講師の指示やアドバイスに素直に従ってきましたか？
- 自分が信じ切られる講師を見つけ、指示に素直に従おう！
(不合格者のアドバイスは無視、
氾濫するTwitterの情報に惑わされない)

7. ②腹をくくる

- 12月短答まで、実は時間がありません。
- 基礎の習得は、初学者よりも受験経験者の方が大変だから。
- 「それでも、素直に、ゼロからやり直し、やりきる」という覚悟が必要。
(勉強の仕方さえ身に付けば、論文の学習もスムーズに)
- 恥ずかしいなんて思う必要はない。
(逆に、真摯な姿はカッコいい)

8. ③受験界のムードに流されない

- 「理解していれば解ける」？
講義や答練を受けただけで満足していませんか？
点数がとれるまで、突き詰めていますか？
（暗記こそ重要！）
- 「きれいなレジュメ、膨大な情報」？
それ覚えきれなの？
そんなに必要なの？
⇒最近の試験や実務でも見たことないけど…
知的好奇心を満たすことが目的ではない！

9. ④ムダを徹底排除する

- 短答でも論文でも、差がつくのは「基礎力がどれだけあるか」です！
- 「基礎力がない」、「時間もない」と自覚したら、ムダをやるヒマはないはず。
- 学習方法を根本から改めよう！
- 校舎、ZOOM等で、TAC講師に相談を！

10. 受験経験者が陥りやすい思考

- 「基礎は分かっているから大丈夫」
- 「基礎なんかやっている時間はない」
- 「もっと応用的な問題の演習をしたい」
- 「自分にはセンスがない」
- 「努力が報われない科目」



これらはすべて間違いです。
基礎がないから短答で合格点がとれないのです。

11. 短答不合格の私が心がけたこと

- 上級講義を一通り受講し終えているという変な自負は完全に捨てた。
- 基礎力の面では順調に学習を進めている初学者にも負けていると自覚して、謙虚な気持ちで取り組んだ。
- 膨大な情報の収集、知的好奇心の充足と決別した。

12. 短答・論文突破のために

- 再チャレンジ受験生こそ、
「基礎」の重要性を認識すべき。
- ただし、私が期待する「基礎」とは、
皆さんが想像している「基礎」よりも
はるかに「徹底的」。
- 後述のように、基礎の徹底が、
「効果的」かつ「効率的」な合格に直結。

13. 過去の短答式試験（管理会計論）

	H28①	H28②	H29①	H29②	H30①	H30②
平均点	45.9	48.0	51.1	47.4	49.4	45.8
TAC期待	65.0	75.0	70.0	70.0	70.0	70.0

	H31①	H31②	R2①	R2②	R3	R4①
平均点	44.1	37.4	34.5	46.0	40.9	47.1
TAC期待	50.0	52.0	52.0	68.0	50.0	65.0

- 計算8問（原価計算4問、管理会計4問）で60点
理論8問（原価計算4問、管理会計4問）で40点
- 高得点はとりづらい（下手すれば足切りに）
- 基礎的な問題を素早く正確に解く必要

14. 過去の本試験結果から言えること

★「基礎」がとにかく大切！★

- 誰も解けないような問題を解く能力は一切不要。
- 他の受験生が解ける問題を確実に解ける基礎力。
- ただし、職業的専門家になるための試験なので、中途半端な「基礎」では太刀打ちできない。

これらは、短答・論文通じて言えることです。

15. TACの管理会計論教材の特長

教材	特長
テキスト	この1冊でインプット十分（たった412ページ）
例題集	平易な数値設例でテキストの理解を補強。
トレーニング	計算力の基礎を完全習得するための最重要教材。
アクセス答練	実力を本番レベルに引き上げる珠玉の教育的問題。
短答答練	本番で安心できる高地トレーニング。
論文答練	本試験を模した現場対応力の養成。

16-1. 管理会計論が苦手の理由と対策①

① 迷子になりやすい

- 工場業務や経理実務などの実際の仕事のイメージがわからず、テキストを読んでも理解が定着しない。



講義で聴いた具体例を参考に、工場の製造現場や社長の意思決定場面を、とにかくイメージ！イメージ！

- 問題のパターンが無限にあり、なじみづらい。



構造論点（原価計算）⇒個別論点（管理会計）で学習する科目であると認め、「立ち位置を明確にする勉強」を！

16-2. 管理会計論が苦手の理由と対策②

② 芋づる失点でモチベーション低下

- 普段しっかり勉強しているのに、答練になると問題の入り口で間違い、その後の問題も芋づる失点し、苦手意識が強くなる。



問題の入り口での失点は、①問題設定の把握不足か、
②注意力不足、で起きる。

①は、普段から「考えて解くクセ」を付けて対応。

②は、問題の入り口ほど、時間をかけても丁寧に解いて対応。

17-1. 原計/管理の学習の重要ポイント①

「原価計算の目的」を暗記しよう！（TACテキストP3）

目的	説明
①財務諸表作成	製品原価の正確な計算
②価格計算	政府の軍需品購入価格（今日的意味合いなし）
③原価管理	コスト削減
④予算管理	利益管理（予算編成と予算統制）
⑤基本計画設定	設備投資意思決定

17-2. 原計/管理の学習の重要ポイント②

テキストの構成を理解し、勉強の立ち位置を明確にしよう！

目的	TACテキストの章
①財務諸表作成 (製品原価の 正確な計算)	2章 費目別計算 3章 製造間接費の配賦計算 4章 部門別計算 5章 製品別計算 (個別原価計算) 6章 製品別計算 (総合原価計算)
③原価管理 (コスト削減)	7章 標準原価計算
④予算管理 (利益管理)	8章 直接原価計算 3章 CVP分析 4章 予算管理 (予算編成・予算統制) 8章 業務的意思決定
⑤基本計画設定 (設備投資)	9章 設備投資意思決定

17-3. 原計/管理の学習の重要ポイント③

原計とは？ 管理とは？ （TACテキストP4、P246）

	原価計算制度 (原価計算)	特殊原価調査 (管理会計)
財務会計機構との関係	財務会計機構と有機的に結合	財務会計機構のらち外
計算の頻度	常時継続的	随時断片的
目的	財務諸表作成、原価管理、 予算統制	業務的意思決定、 設備投資意思決定
特徴	上記の目的が相ともに達成 されるべき一定の計算秩序	原価の統計的、技術的計算 ないし調査
原価の性質	支出原価	特殊原価 (差額・機会・埋没原価)
時間的性質	過去情報	未来情報
イメージ	監査	コンサルティング

18. 原価計算のキーワード

「製品原価の正確な計算」、「原価管理」、「実学」

- P44 製造間接費の配賦基準の要件
- P48 製造間接費の実際配賦と予定配賦
- P63 部門別計算の目的
- P64 原価部門設定時の考慮事項
- P66 補助部門費を製造部門へ配賦する理由
- P68 直接配賦法・階梯式配賦法・相互配賦法
- P78 補助部門費の配賦と原価管理
- P100 作業屑の会計処理
- P119 非度外視法と度外視法の比較
- P178 標準原価差異の分析の必要性

19. 管理会計のキーワード

「社長目線（利益管理、仕組み作り）」、「CF」

- P227 変動費、固定費、貢献利益
- P262 CVP分析（短期利益計画・大綱的利益計画）
- P281 予算編成
- P282 予算統制
- P320 業務的意思決定（差額・機会・埋没原価）
- P330 設備投資意思決定
（貨幣の時間価値、CF、資本コスト）
- P354 事業部の業績測定
- P364 内部振替価格
- P374 企業価値・事業価値の評価

20. 短答式試験問題とTACテキスト

R4①、R4②の短答式試験問題を見てみよう。

★理論問題

TACテキスト、答練をマスターしていれば、8問中、7問は確実。

★計算問題

各問とも問題の導入部分に、その問題の状況が書かれています。

何となく問題に入るのではなく、

- 何の論点の問題か？
- その論点のキーワードは何か？
- どういうことに注意して資料を読むべきか？

を意識することで、グッと正答へ近づきます。



**だからこそ、普段から「立ち位置」を
明確にした勉強が大切！**

21. 論文式試験問題とTACテキスト

R2、R3の論文式試験問題を見てみよう。

★計算問題

- 短答式試験でいうところの、Aランク問題、Bランク問題がたくさんあり、これらを正答すれば、合格レベルに達します。

★理論問題

- たった412ページのTACテキストから多く出題されています。
- これらを暗記すれば、十分正答できると理解したうえで、勉強していますか？
- これらを確実に書けるように理解・暗記していますか？
- 膨大な情報が載ったレジюмеは必要ですか？

22. TAC短答対策講義へのメッセージ

- 受験は「楽しむこと」が目的ではなく、「合格すること」が目的！
- TACの教材だけで十分です！

コスパの高い教材を使用することで、他科目の学習時間を多く確保でき、他校の受験生よりも、「超★効率的」な勉強ができる。

基礎の徹底により相対的に高得点がとれるため、それ自体が、「超★効果的」な勉強です。

TACの多くの合格者も口をそろえているので、信じて頑張ってください！

23. TACの特長

- ムダのないテキスト、答練
⇒合格に直結する箇所をしっかりと習得できる
- 合格者講師
⇒公認会計士試験合格はバランスが大事
- 校舎/ZOOMでの質問/相談
⇒受講生にカスタマイズした対応
- 豊富なセミナー
⇒学習法、モチベーションUP
- チューター制度
⇒直近合格者に気軽に相談できる